

平成14年 資料

「ライフアーゼ」と「ソイルサポート」

今年も、猛暑・少雨と農作物にとってもつらい天候でした。果実の収穫状況に影響がで、出荷価格も余り良いものではなかったようです。今年特にお勧めする肥料資材として『ライフアーゼ』と『ソイルサポート』を紹介いたします。昨年の資料に於いて取り上げましたが、「**土壌中の微生物の重要性と増殖**」という観点から、より有効な微生物の添加された肥料（有機資材）を施肥することにより土壌を最適化することが必要だと考えております。

化学肥料で疲れた土の回復 堆肥や有機の分解促進	有益微生物と熟成有機で土壌を改善 ライフアーゼ	再び取り戻す高品質生産の土 再び取り戻す安定多収穫の土
◆肥料の内容 各種の有機質原料(微生物の餌)に有効菌体(放線菌・バチラス)、アミノ酸粕などを加えてペレット状に粒状成型した土壌改良肥料。有益微生物により完全熟成させた有機質だから天然原理で土を改良する。		
◆効果・特徴 ◎果樹園や野菜畑の土中にたまった身分解の有機類を分解して、完熟堆肥と同じ効果を示す有効腐植に変える。 ◎畑では、長年にわたり肥料として施した燐酸・石灰・微量元素などが効かない形に変化して眠っていることが多い。ライフアーゼは眠っている成分を効く形に再生する。 ◎土中の微生物がバランスを保ち活動するので、悪い菌の増殖を抑える。 ◎根の伸びや吸肥力が良くなり、燐酸やミネラルを多く吸収し味や色が向上する。		
◆施肥する時期と量 ◎果樹(なし・もも・ぶどうなど)＝秋の落葉期から11月に10a当り10～15袋 ◎野菜(ナス・キュウリ・トマトなど)＝畦下深層に堆肥や元肥と共に6～8袋、或は全層に6～10袋		

ソイルサポートの特徴と効果

- ◆ 大昔海底に埋没した魚介類・海藻類、その他海棲動物などの化石化したものを乾燥・粉砕した特殊肥料です
- ◆ フミン酸・苦土・石灰・珪酸・鉄・加里その他微量元素を含有し、全ての作物の増収・品質向上に役立つ肥料です
- ◆ 土壌の団粒化を進め、通水・保水・保肥性の高い理想的な土作りができます
- ◆ 元肥更に追肥に利用でき、連用してもさしつかえなく、酸性肥料以外と同時に施肥しても作物に害がありません
- ◆ 標準施肥量
◎水稲＝3～5袋 ◎果樹＝7～10袋 ◎野菜＝5～8袋

極端に言えば、「ライフアーゼ」と「ソイルサポート」この2つの肥料で土壌改良は完璧に成り得るでしょう。もちろんすぐには成果が現れないかもしれないが、数年施用することによって必ずすばらしい土壌となることを約束いたします。そして必要量に応じて一般肥料を施肥しかつ微生物の「えさ」となるべく堆肥有機物を投与することにより、有効な施肥管理となるでしょう。